

株式会社アイケイ
2021年5月期 第1四半期決算（連結）
補足説明資料

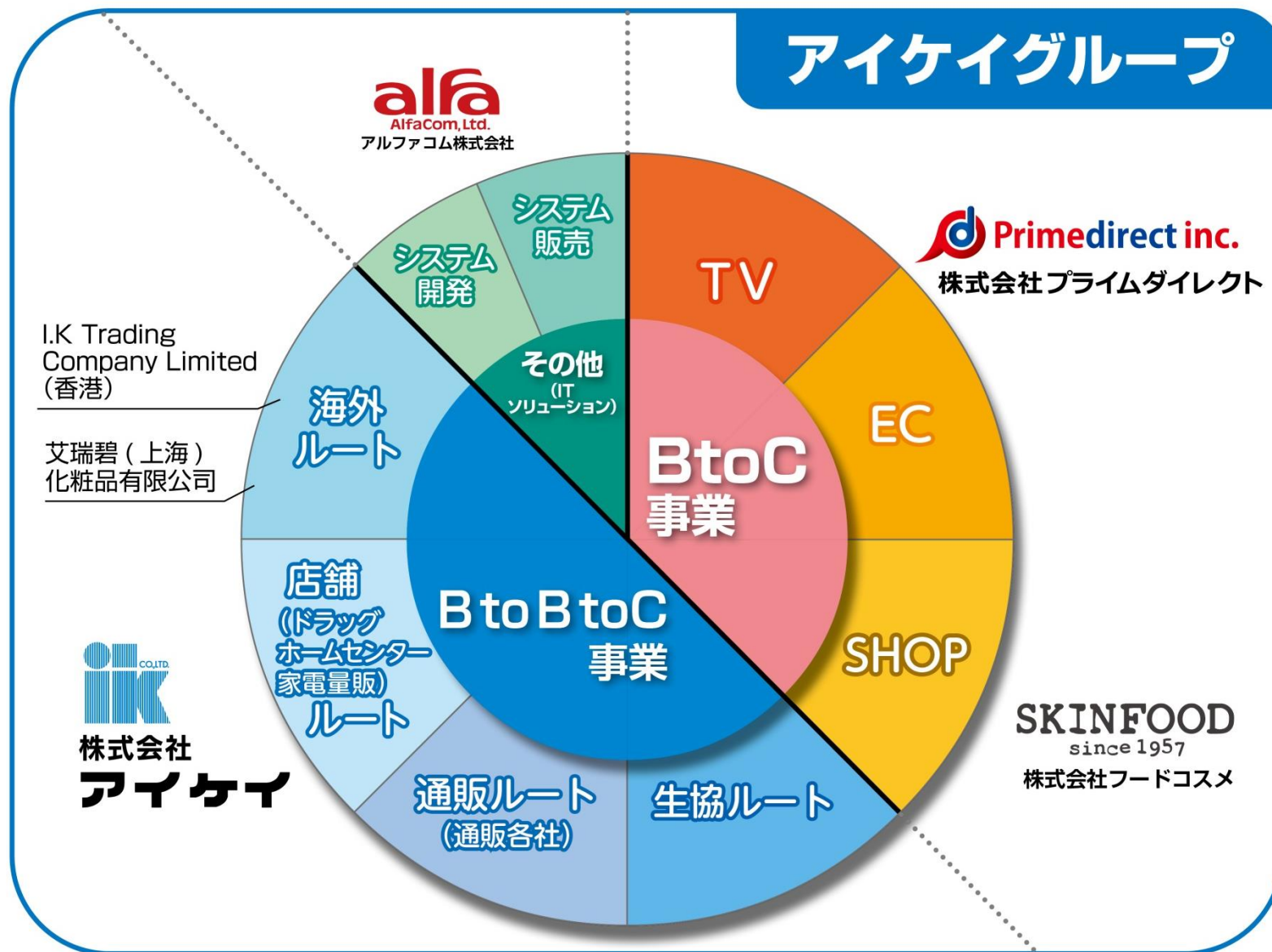
（東証2部・名証2部：2722）

株式会社 アイケイ

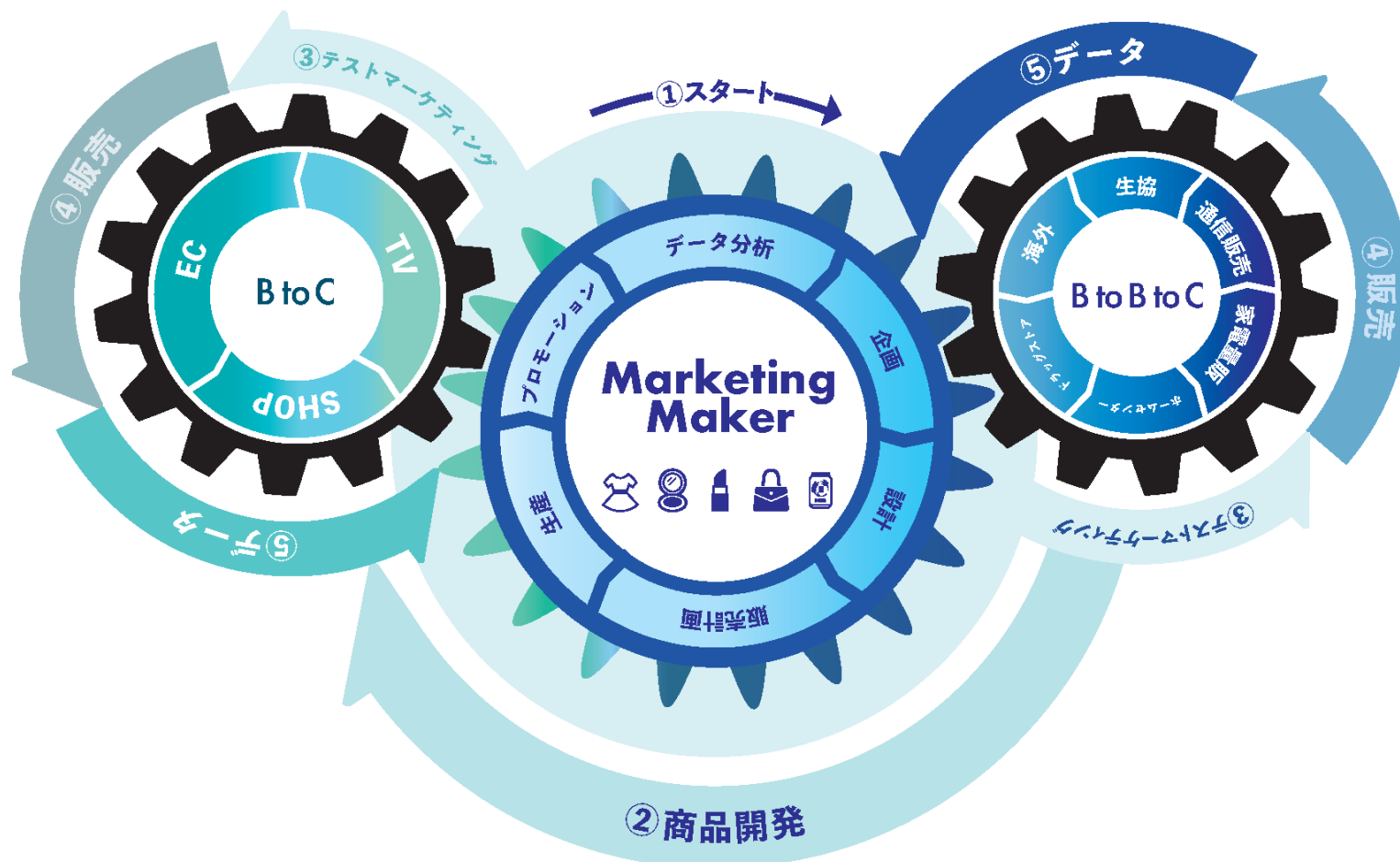


- 1. 2021年5月期 第1四半期決算実績（連結）**
2. 2021年5月期 通期業績予想（連結）
3. ご参考

当社グループの事業系統図



当社グループのビジネスモデル＝マーケティングメーカー



アイケイは独自のプロモーション戦略で、商品の**企画・製造・販売・物流**を
自社で一貫して行う**マーケティングメーカー**です

2021年5月期第1四半期決算の総括(ハイライト情報)

(単位：百万円、%)

	前1Q 実績	当1Q 実績	前期比	主な要因
売上高	3,846	4,837	125.8	前第1Q期と比較してBtoC事業で776百万円の増収、BtoBtoC事業で195百万円の増収、その他で18百万円の増収となり、全体では991百万円増収し売上高は4,837百万円となりました。
営業利益	△49	154	—	販管費比率は荷造運賃と広告宣伝費の売上比率が増加したことにより48.5%と、前第1Qと比較して1.4ポイントUPしましたが、売上総利益率が前第1Qより5.9ポイントUPし51.7%となりましたことから、営業利益は203百万円増の154百万円となりました。
経常利益	△54	153	—	経常利益も営業利益同様に208百万円増加し、153百万円となりました。
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△38	101	—	親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1Qより140百万円増の101百万円となりました。

セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	前1Q 売上高	当1Q 売上高	構成比	前期比	要 因
B to C 事業	1,222	1,999	41.3	163.5	TVショッピングのヒット商品ステップエイトとエアークーンの売上の増加が、SKINFOOD店舗での売上減を補い、全体では776百万円の増収となりました。
B to B to C 事業	2,574	2,770	57.3	107.6	ドラッグストア等の店舗への卸売が苦しむ中、食品類の売上が、生協ルートで40.0%、通信販売ルートで86.1%の増収となり、BtoBtoC事業全体では、195百万円増の2,770百万円となりました。
その他	49	68	1.4	138.0	M-Talk（チャットシステム）の売上が順調に推移しており、売上高は18百万円の増収となりました。
合 計	3,846	4,837	100.0	125.8	

セグメント別営業利益

(単位：百万円、%)

	前1Q 営業利益	当1Q 営業利益	営 業 利益率	前期比	主な要因
B to C 事業	11	156	7.8	1383.0	TVショッピングの売上が好調に推移したとともに、MR（売上/媒体費）が0.2ポイントアップし、販管費比率も8.2ポイント改善したことから、BtoC事業全体の営業利益は156百万円となりました。
BtoBtoC 事業	△44	△6	—	—	売上高は前第1Qと比較して7.6%増収し、売上高に占める広告宣伝費、荷造運賃等販管費の比率が1.3ポイント改善した結果、営業利益は38百万円増加いたしました。
その他	△11	0	0.6	—	M-Talkの売上が好調に推移したこと、販管費比率が20.6%改善したことにより、営業利益11百万円増加いたしました。
合 計	△49	154	3.2	—	

(注) セグメント利益または損失の調整額が前期では△ 5 百万円、当期では 3 百万円あります。

主要経営指標

	2020年5月期 第1Q実績	2021年5月期 第1Q実績
売上高総利益率 (%)	45.8	51.7
営業利益率 (%)	—	3.2
経常利益率 (%)	—	3.2

主要販管費

(単位：百万円、%)

	2020年5月第1Q期実績		2021年5月期第1Q実績	
	金 額	売上比	金 額	売上比
人件費	379	9.9	367	7.6
広告宣伝費	711	18.5	1,005	20.8
荷造運賃	263	6.8	432	8.9
販管費合計	1,810	47.1	2,346	48.5

TVショッピングの放映枠の拡大等により、広告宣伝費比率は前期と比較して2.3ポイント増加しました。さらに物流センターでの商品荷受け、発送作業料等の増加により荷造運賃費の売上比率も前1Qと比較して2.1ポイント増加したため、販管費の売上比率は前期と比較して1.4ポイント増加いたしました。

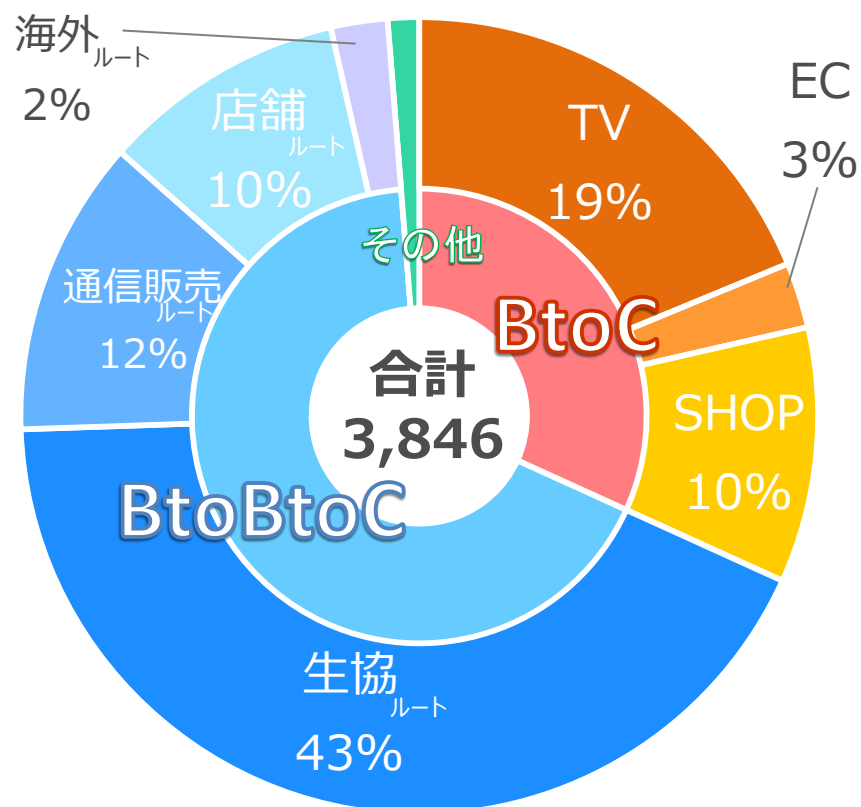
財政の概要

	2020年5月期 第1Q実績	2021年5月期 第1Q実績
総資産（百万円）	6,788	7,108
純資産（百万円）	2,514	2,824
自己資本比率（%）	37.0	39.5
1株当たり純資産（円）	336.35	387.14
1株当たり四半期純利益（円）	△5.20	13.94

（注） 当社は、2019年11月13日に自己株式235,800株をN-NET3により取得いたしました。

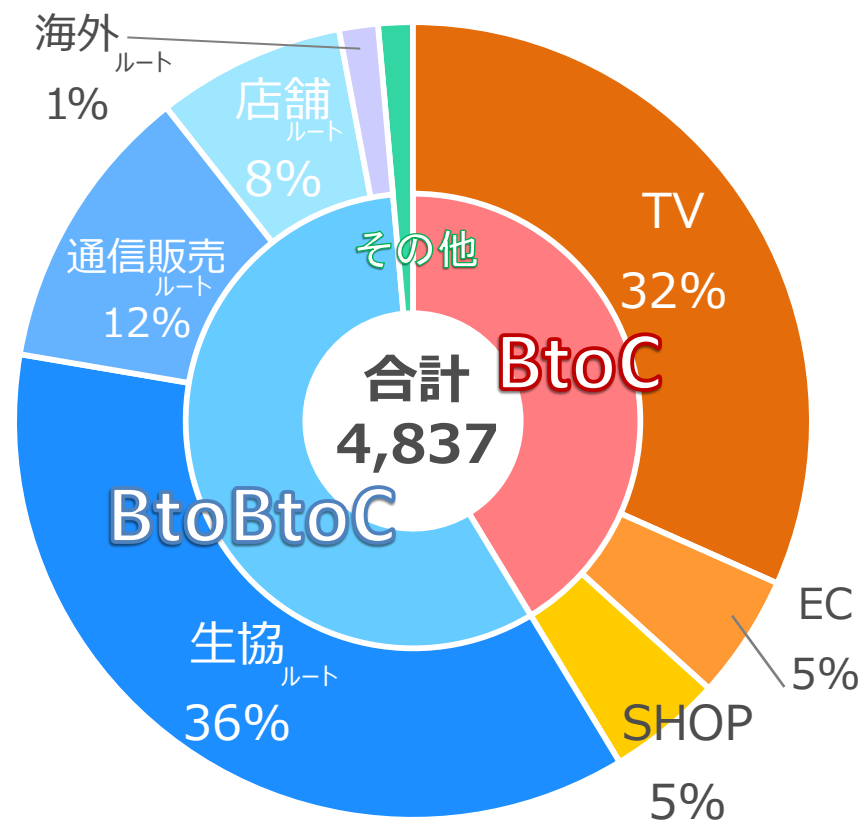
販路別売上内訳

2020年5月期 第1Q



2021年5月期 第1Q

(単位：百万円)



1. 2021年5月期 第1Q決算実績（連結）
- 2. 2021年5月期 通期業績予想（連結）**
3. ご参考

業績予想

(単位：百万円、%)

	2020年5月期 通期（実績）			2021年5月期 通期（予想）		
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比
売上高	18,483	100.0	104.9	19,268	100.0	104.2
営業利益	590	3.3	136.9	659	3.4	111.6
経常利益	623	3.4	142.5	661	3.4	106.0
親会社株主に帰属する当期純利益	384	2.1	161.3	375	1.9	97.7
1株当たり配当金	12円			12円		

セグメント別売上高の予想

(単位：百万円、%)

	2020年5月期 通期（実績）		2021年5月期 通期（予想）		
	金額	構成比	金額	構成比	前年比
BtoC事業	6,656	36.0	6,630	34.4	99.6
BtoBtoC事業	11,539	62.4	12,317	63.9	106.7
その他	287	1.6	320	1.7	111.4
合 計	18,483	100.0	19,268	100.0	104.2

1. 2021年5月期 第1Q決算実績（連結）
2. 2021年5月期 通期業績予想（連結）

3. ご参考

株式会社アイケイ

本社 : 名古屋市中村区名駅三丁目26番8号 KDX名古屋駅前ビル5F

代表者 : 代表取締役会長 飯田 裕、代表取締役社長 長野 庄吾

設立 : 1982年5月1日

資本金 : 401百万円

連結売上高 : 18,483百万円 (2020年5月期)

連結経常利益 : 634百万円 (2020年5月期)

連結総資産 : 7,371百万円 (2020年5月期)

連結純資産 : 2,818百万円 (2020年5月期)

従業員数 : 282名 (2020年5月期 連結)

上場市場 : 東京証券取引所市場第二部・名古屋証券取引所市場第二部

証券コード : 2722

- 1982年 5月：アイケイ商事有限会社を設立
- 1983年 4月：愛知県生活協同組合連合会との取引を開始
- 1991年 4月：有限会社から株式会社へ組織変更 社名を株式会社アイケイに変更
- 2001年12月：JASDAQ上場
- 2005年12月：プライベートブランド「ローカロ生活」販売開始
- 2009年 6月：株式会社フードコスメ（現100%子会社）を設立
- 2010年12月：アルファコム株式会社の株式取得（100%子会社）
- 2013年 2月：プライベートブランド化粧品「LB」販売開始
- 2014年 9月：株式会社プライムダイレクトの株式取得（100%子会社化）
- 2017年 8月：I.K Trading Company Limited（100%子会社）設立
- 10月：艾瑞碧(上海)化粧品有限公司（間接所有60%）設立
- 2018年 2月：東京証券取引所(市場第二部)市場変更、名古屋証券取引所(市場第二部)上場
- 5月：グレースヤス株式会社の株式取得(100%子会社)
- 2019年 9月：グレースヤス株式会社を吸収合併

自社開発商品（化粧品）



< LB >



< B!FREE+ >



< たまご化粧品 >



< SKINFOOD >

自社開発商品（雑貨品）



< スピードヒートベスト >



< エアーヨーン >



< ホワイトアップパンツ >



< ステップエイト >

自社開発商品（食品）



< 熟成黒にんにく >



< はとむぎエキス >



< ローカロ生活 >



< Mother's Market >

自社開発商品



ごろっとおかずスープ



ラシークス カラートリートメント



やわらか輪切りドライレモン



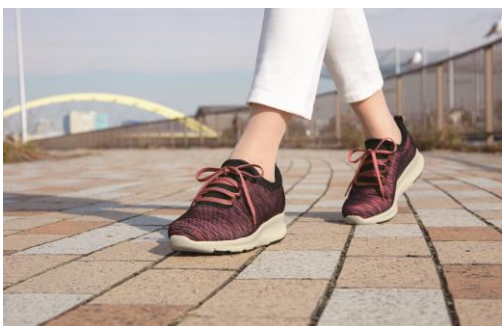
シミノケア薬用ピーリングエッセンス



マヌカ蜂蜜入りジンジャーシロップ



北海道産 プラセンタゲルクリーム



LOCOS アクティブウォーカー



インティマ



あとりえOKADA